



川村学園女子大学とあびこ農産物直売所あびこんが 地元野菜を使った弁当を共同開発

あびこん独自の地域性の高い商品を販売するため、直売所を運営する（株）あびベジと市が、川村学園女子大学に協力を依頼し、生活創造学部生活文化学科で栄養学を学ぶ大学生の協力を得て、弁当を共同で開発しました。

弁当の開発は、同学科の前期授業の中で、地元農産物の旬や特徴について学び、実際に商品をつくる加工室の設備見学を行いました。また、弁当を選ぶ基準や入っているとうれしい野菜など 12 項目にわたる市民のニーズ調査を実施し、同学科の 9 つのゼミがお弁当のレシピを開発しました。

7 月に各ゼミの学生が開発した「ほうじ茶で炊くひじきご飯と 15 品目和風弁当」や「彩り野菜のスマイル！ロコモコ丼」など、9 つ弁当のレシピのプレゼンテーションを実施しました。

（株）あびベジと農政課が「地元農産物の活用」「見た目」「独自性」「作りやすさ」「原価コスト」の 5 つの視点で選考し、地元の大根の葉を混ぜ込んだアイデアや鶏のささみを使ったヘルシーな点、さらに原価コストが押さえられたことが評価され「美彩食^{びさいしょく}弁当」を採用しました。

共同開発した弁当は、11月17日（土）に水の館前駐車場で行われる「第37回我孫子市農業まつり」から450円（税込み）で販売します。（翌日から直売所店内で販売）

他の提案されたレシピについても、具材の旬の時期などを考慮しながら順次商品化したいと考えています。



【問い合わせ】

我孫子市環境経済部農政課 担当 小澤

☎ 04-7185-1481（内線26-565）